

公立大学法人大阪

第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
(事務局 大阪府・大阪市副首都推進局)

公立大学法人大阪の中期目標期間の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府市公立大学法人大阪評価委員会による評価を受けることとなっており、令和7年度第3回評価委員会において、中期目標期間の業務実績の評価結果を決定しました。

全体評価 「全体として目標を十分に達成した」

- 大項目について、すべての項目において、A評価（中期目標の達成状況が良好である）であることを確認した。
- 法人の取組を俯瞰した委員会コメント
第1期中期目標期間においては、大阪府立大学、大阪市立大学を着実に運営するとともに、大阪公立大学の設置認可申請や入学者選抜など、大学統合に向けた取組を実施し、令和4年4月に大阪公立大学を開学した。統合した大学の運営に着実に取り組むとともに、府大及び市大に在籍する学生へ継続して質の高い教育や充実した学生支援を提供し、全体として中期目標を十分に達成したことは、評価できる。
特に、大阪公立大学においては、府大・市大の歴史や取組、成果を継承・発展させ、国際化やダイバーシティ推進にも一層積極的に取り組み、本来の使命である「教育」「研究」「社会貢献」に加え、「都市シンクタンク機能」「技術インキュベーション機能」の二つの新たな機能の充実・強化に取り組んできた。統合した大学運営に着実に取り組んでおり、入学者選抜、外部資金の獲得等において、これらの成果が出てきていることは評価できる。今後も、教育の充実や大学の強みを活かした研究、産学官民の連携等をさらに推進し、研究成果を社会に還元することにより、公立大学としてより一層の貢献をされることを期待する。
また、大阪公立大学工業高等専門学校においては、これまで高度な実践的技術者を育成・輩出し、大阪の成長・発展に資する人材の育成に取り組んできた。引き続き、社会情勢の変化に伴う産業界から求められる人材像の変化に対応するため、令和4年度からのカリキュラム改革等に着実に取り組んでいる。今後、中百舌鳥キャンパスへの移転を見据え、策定した学舎整備計画や大阪公立大学との共用施設の配置計画等を着実に実施し、よりよい修学環境の整備に取り組まれることを期待する。
さらに、法人においては、大阪公立大学等の魅力や研究成果の積極的な発信や、ダイバーシティの推進等に取り組んできた。今後も大阪公立大学等の魅力や研究成果をより積極的に情報発信するとともに、さらなるDXの推進や、組織力の向上、業務の効率化及び適正化に取り組むなど、引き続き、法人運営における取組の充実・強化を期待する。
- 上記のとおり、第1期中期目標期間の業務実績をふまえ、引き続き、第2期中期目標の達成に向けて取り組まれることを期待する。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
大阪公立大学に関する目標	S	A	B	C	D	課外活動支援、キャリア支援、入学者選抜、研究力の強化、諸機関との連携強化、生涯学習への貢献、研究における国際力の強化、地域医療及び市民への貢献において、中期計画を上回って実施している。他の項目についても中期計画を十分に実施したと判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
大阪公立大学工業高等専門学校に関する目標	S	A	B	C	D	高度な実践的技術者を育成するため、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを実施し、高専教育の充実に取り組むなど、中期計画を十分に実施したと判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
大阪府立大学及び大阪市立大学に関する目標	S	A	B	C	D	大阪府立大学及び大阪市立大学のキャリア支援について、中期計画を上回って実施しており、他の項目についても中期計画を十分に実施したと判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
業務運営の改善及び効率化に関する目標	S	A	B	C	D	ダイバーシティの推進について、中期計画を上回って実施しており、他の項目についても中期計画を十分に実施したと判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
財務内容の改善に関する目標	S	A	B	C	D	自己収入の確保について、中期計画を上回って実施しており、他の項目についても中期計画を十分に実施したと判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
自己点検・評価及び情報提供に関する目標	S	A	B	C	D	戦略的広報について、中期計画を上回って実施しており、他の項目についても中期計画を十分に実施したと判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。
その他業務運営に関する重要目標	S	A	B	C	D	環境マネジメントについて、中期計画を上回って実施しており、他の項目についても中期計画を十分に実施したと判断し、中期目標の達成状況が良好であると評価した。

※評価区分 S：非常に優れている A：良好である B：おおむね良好である C：不十分である D：重大な改善事項あり